

# 金沢学院の魅力はココ

## オープンキャンパス開催

### 短大ライフデザイン総合学科PR



講堂がほぼ満杯となったオープンキャンパス全体説明会で挨拶する石田学長 = 4号館



紅茶の入れ方を学ぶ生徒

金沢学院大学・短期大学の2008オープンキャンパス

キャンパス第二回は八月十日、金沢市末町の同大学・短大で行われ、参加した約五百人の生徒、保護者らが魅力的な教育内容に理解を深め、オープン授業でひと足早く学生気分を味わいました。来年度スタートする短大ライフデザイン総合学科では六つの系統ごとにオープン授業を行います。



デッサン指導を受ける生徒

このうちフード&ウエルネス系では、川村昭子教授が紅茶をおいしい飲むコツを伝授する授業を行い、生徒たちは用意されたクッキーと一緒に深い香りの紅茶を味わいました。大学美術工芸学科では鉛筆デッサンの表現法に多くの生徒が取り組みました。

### 短大生が座禅体験

金沢学院短期大学の一年生百四十人は八月四日、金沢市の曹洞宗大乗寺を訪れ、初めて座禅を体験しました。写真左。瞑想して自己を見つめ、心身とも

### お菓子作りの体験をプレゼンテーション 土曜大学夏期特別講座



プレゼンの資料作りに取り組む親子 = 2号館

金沢学院大学基礎教育機構の土曜大学夏期特別講座は八月七日と八日、

本学と金沢市の県菓子文化会館で行われました。参加した親子約五十人は、菓子文化会館の職人の指導で、素材を延ばしたり包み込んだりして和菓子づくりに挑戦しました。本学のパソコン室では、菓子作りの写真を取り込み、感想などを添えたプレゼンテーション資料づくりに親子で取り組み、発表しました。

お菓子づくりに真剣な表情の児童。県菓子文化会館

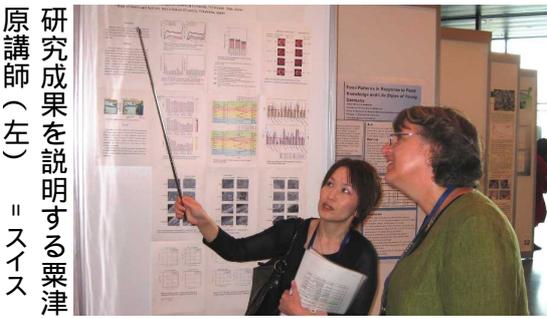
に安定した生活を目標と行われました。約三十分間の座禅に臨んだ学生は、しびれた脚をもみほぐしながら、厳かな空気の余韻にひたっていました。



### ルチンの抗酸化性を追究

スイスで国際学会 栗津原講師が発表

金沢学院短期大学食物栄養学科の栗津原理恵講師は七月二十六日から六日間、スイスのルツェルンで開催された国際家政学会発足百周年記念大会に参加し、そば粉が含有するポリフェノール「ルチン」の抗酸化性について発表しました。研究では、新手法である化学発光法と脱塩基DNA法を用い、ルチンに高い抗酸化性とDNA損傷防御能があることを見つけました。調理の際に失われやすいルチンはそば粉に卵白や小麦グルテンを添加すれば損失を抑制できることも分かりました。栗津原講師は「各国の先生とディスカッションでき、有意義な学会だった」と話しています。



研究成果を説明する栗津原講師（左）  
「スイス」